

# 「豊劇」を地域に開かれた場として提供し続けたい



2度の閉館・休館を乗り越え、2023年3月に再開した但馬唯一の映画館「豊岡劇場」(1927年開業)

豊岡劇場 3代目支配人

たなか あいこ  
**田中亜衣子さん**

京丹後市在住。中学時代から豊岡劇場(愛称：豊劇)に足を運ぶ。21年に同劇場にパート従業員として入社。22年2月、8月に前支配人から休館すると告げられ、事業継承のため9月に一般社団法人「コミュニティシネマ」を立ち上げ。翌年3月に営業再開を果たす。

**今**の豊岡劇場は、前支配人の石橋秀彦さんが14年に再開しました。その際にリノベーションされた豊劇の雰囲気大好きです。コロナ禍等の影響で、石橋さんから突然休館を告げられた時は思わず「私がやります」と手を挙げました。三度目の復活を目指し、資金集め等が大変でしたが、運営ボランティアの皆さんや全国からの応援があり再開できました。

私の活動の軸は、一日でも長く豊劇の運営を続けること、子どもたちに新しい映画を届け、地元の映画館に親しんでもらうことです。

豊劇のロビーを地域の人の開き、社会福祉協議会の協力のもと、やりたいことを持ち寄り「豊劇IDOBATA会議」を毎月第3土曜日に開催しています。時間があるけど行く場所がないという方等にとって豊劇が社会参加の選択肢の一つの場になればと思います。皆さんがこの会議で生まれるプロジェクトに楽しんで参加し、気付いたらこの場が福祉に貢献をしていたという場所になっていることを望んでいます。

## Toyooka Topics —とよおかの“旬”な話題—

ドローンで荷物を運ぶ配送試行を  
出石・但東間で実施



日本郵便(株)がドローンを飛ばし、出石から但東まで荷物を届ける配送試行を12月18日に実施しました。関係者約30人が見守る中、出石郵便局を離陸したドローンは山の上を中心に16分かけて飛行し、無事、奥矢根公民館に荷物を届けました。荷物の受取役を務めた地域住民は「ドローンで本当に荷物が運べるのかなと思いましたが、無事届きました」と話していました。引き続き、日本郵便は中山間地域でドローン配送の取組みを進めていくとのことです。

第100回箱根駅伝に出場した  
本市出身の藤井空大選手が市役所を訪問



1月2・3日に開催された第100回箱根駅伝の復路第7区に、本市出身の藤井空大さん(2年・20歳)が駿河台大学の選手として出場し、応援を背に箱根路を力走しました。1月9日に、市役所を訪問し、市長に結果報告を行いました。藤井さんは「自分が気持ちよく走れたのは応援してくれる皆さんのおかげです。これからも精進し、もっと力をつけて、来年、再来年にはエースとして個人区間1桁の順位を目指し、チームに貢献していきたいです」と力強く話していました。

豊岡市 SNS



各施設・事業の SNS



※広報とよおかは豊岡市公式ホームページやスマホアプリのマチイロでも読むことができます。

